

新型コロナウイルスから いのちとくらし守れ!



給食用小松菜を購入

ジェンダー平等実現・墨東病院直営・ 羽田新ルート撤回を

新型コロナウイルスの感染が世界と日本で拡大し、深刻な状況となっています。日本共産党区議団は、予算議会の最中でしたが、突然発表された小中学校の休校要請に対し、教育委員会に緊急要望をしたのはじめ、議会審議を通じ区民の声を反映させました。高すぎる国保料値上げ反対、防災対策とスーパージョイントの充実などを追求しました。

「新型コロナウイルス」全校休校で 教育委員会に緊急要望

日本共産党区議団は、全小・中学校の一律休校が始まった3月2日、緊急に教育委員会に対する申し入れを行いました。その中で①休校の期間については区独自に判断すること②新型コロナウイルスの感染状況を判断しながら、学校登校日を分散的に設けるなど子どもたちの交流を図ること③小学校低学年・特別支援学級の児

童・生徒を対象に、校舎内での居場所の確保と希望者への給食の提供④休校による臨時・非常勤職員、委託業者・食料納入業者への減収補償などを求めました。区は給食中止で納入できない農家の小松菜を、区役所前庭で販売するなどの支援を行いました。

給食費補助、介護福祉職員・ 保育士へ奨励金などが実現

- 皆さんの声が区政を動かしました。
- 給食費値上げ(約400円)の半分、月200円を軽減。第三子以降の給食費無償化
- 学校の課題解決のためにスクールソーシャルワーカー12人に倍増
- 人材確保のために介護福祉職員経験3年以上、保育士5年以上で一人10万円の奨励金支給(一回のみ)

- 介護付き有料老人ホーム入所助成
- 金：特養ホーム待機者が介護付き有料老人ホームに入所した際、特養ホーム料金との差額の二分の一を補助(上限月7万円)
- 育児休業を3年まで延長した際の支援補助(区内企業で働く人)



子どもの国保料の負担軽減を!!

収入のない子どもの均等割保険料が、新年度は2100円値上げで年額5万5200円に。これは区が保険料抑制のための法定外繰入を23区で最も早くなくすためです。他の自治体で実施している「子どもの保険料負担軽減」を求め、税の二重負担と否定。

毎年の値上げで、23区で1番多い20%の世帯が滞納しています。協会けんぽ保険料と比べて、年収500万円の4人家族では、2.2倍の保険料。全国知事会が要望した1兆円の公費負担で均等割保険料をなくすことこそ必要です。

「いのちのとりで」墨東病院は都立直営で

小池都知事が昨年12月定例都議会で「都立病院の独立行政法人化」を突然発表。直営から独法化された板橋区の健康長寿医療センターでは「入院保証金10万円」の負担増と共に、160床のベットが減らされました。

墨東病院の利用者の約3分の1が江戸川区民。今回の新型コロナウイルスが江戸川区民。今回の新型コロナウイルス

「都立直営を求めている」との質問に「今、都が検討中だから言えない」と答弁。今、言わないでいつ言うのか、区の姿勢が問われます。



ジェンダー平等の実現 選択的夫婦別姓・ 同性婚を

「ジェンダー平等」は、国連SDGsの目標の一つでもあり、大きな課題となっています。今議会で、区長に対し見解を求めたところ「性別によって個人の生き方の制約をする部分があれば解消しなければ」と答弁。

区議団は、区幹部職員などの女性比率を高めることや選択的夫婦別姓、同性婚の実現に向けた努力を求めました。

新年度、区の「人権・男女共同参画推進センター」設置は、一歩前進です。また、「選択的夫婦別姓についての国会審議を」求める陳情が、趣旨採択されました。

※ジェンダーとは…社会的・文化的につくられた性差。政治の責任が大きい。